

人と人がつながり 幸せが循環するまち

ASAGO

2022
NO.212

11

広報朝来



P2-4

特集

農業と福祉

市内での農福連携事業の取り組み

P5

令和5年度認定こども園・保育園・学童クラブ入園（所）申込受付
マイナンバーカード申請出張窓口のご案内

農業と福祉

皆さんは『農福連携』という取り組みをご存知でしょうか？

これは、障害者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。農福連携事業に取り組むことで、障害者などの就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。近年、市内においても、さまざまな形での取り組みが行われています。

この取り組みが進むことで、誰もが居場所や役割を持ち、健康で心豊かな暮らしを実感できるまちの実現につながるとともに、地域で循環する産業の確立にもつながるのではないのでしょうか。

この特集では、「農業」と「福祉」の両面からの課題や可能性を探っていきます。

農業の現状

まず、農業における現状は、全国的に農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣による農業被害、さらには近年の気候変動による農作物への被害など、農業における課題は山積しています。これらの課題は本市においても例外ではなく、2020農林業センサスでは、本市の農業者の平均年齢が73.5歳と県下で最も高齢化が進んでいます。また本市特産の「岩津ねぎ」「黒大豆」は、冬場の厳しい時期の出荷となり、「岩津ねぎ」においては、収穫・出荷調整作業、「黒大豆」においては葉取り・収穫など厳しい農作業を経ての出荷となるため、年々生産者と共に生産面積が減少しています。

福祉の現状

次に障害者福祉の現状については、朝来市では第3期朝来市障害者計画および第6期朝来市障害者福祉計画を策定し、障害のある人の自立および社会参加の支援についてさまざまな施策に取り組んでいます。国や県では、障害のある人が自立した生活を送るための法律や支援制度が整備され、また市内においても就労支援サービ事業所が新設されるなど、障害のある人が自立した生活を送る

ための環境整備・施設整備が進められています。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、障害のある人の就労状況には大きな影響が出ています。以前からの作業が無くなり、就労賃金が大幅に減少する人や、就労場所が無い人も増加しています。また重度障害の場合など障害の程度によっては、十分な社会参加ができない現状も課題としてあります。

今後も市において、就労支援サービ事業所や市内事業所と連携し、社会活動に参加しやすい環境整備や就労機会の充実が求められています。また障害のある人もない人も分け隔てなく、地域の中で人と人がつながり、お互いの存在を認め合い自分らしく暮らせる地域づくりも継続して取り組んでいく必要があります。

朝来市における農福連携事業

このような現状の中、近年本市では、農福連携の新たな取り組みが進んでおり、社会福祉施設利用者による生産者圃場での農作業、また施設内での「岩津ねぎ」の収穫・出荷調整作業、さらには施設での「菊」や「さつまいも」の栽培など農業従事者が減少する中で、新たな担い手として活躍されています。次ページ以降では、その取り組み内容を紹介します。

(福) 神戸聖隷福祉事業団和生園の取り組み

1年を通して取り組める体制をめざして

(福) 神戸聖隷福祉事業団和生園は、就労継続支援B型などの障害福祉サービスを行う事業所。これまで企業から作業依頼があったが、新型コロナウイルスの影響により、無くなってしまった状況になっていました。利用者皆さんが就労できる作業を探すため、市内の企業や市役所に相談され、その時紹介されたのが、市内農家の黒豆の葉取りや苗箱の洗浄などの作業。これが同事業所の農福連携事業に取り組みられたきっかけです。また昨年、同事業所は竹田地区内に農地を取得することになり、その農地で利用者の皆さんに賃金の支払える農作物の栽培ができないかと悩まれていました。

野菜に比べて小さい面積でも収益につながるのでは」とのアドバイス。同事業所では、今年の4月から石原常務にさまざまなアドバイスを受けながら、小菊の栽培などに取り組みられています。片岡さんをはじめ、同事業所の職員さんらの農業の知識は乏しく、試行錯誤の毎日だと言います。ただ、片岡さんは「しっかりと花を生産し、利用者皆さんに賃金が支払える体制を作りたい。また、農業は成果が分かるので、休みがちな利用者の皆さんも来ていただけるなど、いい影響があります」と笑顔で話されます。



(福) 神戸聖隷福祉事業団 第2和生園 職業指導員

かたおか ひろし
片岡 浩志さん

1. 小菊の苗植えを行う和生園の皆さん / 2. 小菊の収穫作業 / 3. 栽培の相談を行う石原常務(左)と片岡さん(右) / 4. 小菊の後作として栽培したおもちゃカボチャ



4



3



2



1

この取り組みが広がれば

(株)姫路生花卸売市場の柴山栄一代表取締役社長が以前から『農福連携事業』に取り組めないかと考えていたこともあり、石原さんは片岡さんの相談に応じられました。小菊やおもちゃカボチャの生産から販路まで、さまざまなアドバイスをされています。

石原さんは「利用者の皆さんは、一生懸命作業されているし、その姿をみると、この取り組みに協力できてよかったと思う。この取り組みが広がり、朝来市モデルとして広がっていくべき」と話されます。

また、「利用者の皆さんによって、作業の内容が変わってくる。皆さんにとっても、できる限り負荷の少ない作業方法や農作物を見つけれれば。また、竹田にあるこの農場だけでは生産量や作業量、作業期間に制限があるため、1年を通して農作業に取り組めるようないろいろな提案をしていければ」と話されました。



(株)姫路生花卸売市場 常務取締役 生産振興担当

いしはら ようすけ
石原 洋輔さん

(福) 朝来市社会福祉協議会の取り組み

皆さんが楽しみながら続けていけるように



(福) 朝来市社会福祉協議会
就労支援員

さとう しげる
佐藤 茂さん

が作物の成長する過程に関わり、目に見えて成果が分かりやすいので、「利用者の皆さんの意欲向上につながっている」と佐藤さんは話されます。

佐藤さんは、「利用者の皆さんには能力の差があるため、皆さんの意見も伺いながら取り組みたい。また皆さんが楽しみながら、継続していければ」と話されました。

(福) 朝来市社会福祉協議会でも和生園と同様に、新型コロナウイルスの影響により、これまでの作業が無くなる状況になっていました。

そのようなときに市内で農業を営む池本さんから岩津ねぎの出荷作業の手伝いがないかと相談がありました。社協の職員の中にも、農業に関する知識をもった職員は多くありませんでしたが、「何もしないより、まずはやってみよう」と、就労支援員の佐藤さんを中心に農福連携事業の取り組みが開始。現在は、市内農家からの依頼で、11月から3月までを岩津ねぎの出荷作業、6月～9月をきくらげ栽培の出荷作業などを手伝われています。また、それ以外の期間には作業所近くの農場でサツマイモや野菜の栽培にも取り組まれています。農作物の栽培は、苗植えから収穫まで、利用者の皆さん



↑サツマイモの収穫をする利用者の皆さん



農家
いけもと こういち
池本 晃市さん

お互い助け合いながら

池本さんは市内で岩津ねぎなどを生産する農家。岩津ねぎの生産は、ほぼ夫婦で作業を担われていますが、出荷の際、「根切り」や「葉取り」作業にどうしても時間がかかることから、朝来市社会福祉協議会に相談されたのが、農福連携事業に取り組まれるきっかけだったそうです。現在では、出荷時の葉取り作業のほかに、ふるさと納税の返礼品の『土付き岩津ねぎ』の出荷作業なども依頼されています。

池本さんは「人手が足りない時は、本当に助かっている。お互い同じ地域に住んでいるので、助け合いながらやっていければ」と話されます。

また、この取り組みを続けていくためには「まず農家がいい農産物を栽培し納品できるよう、栽培技術を高めていきたい。また、どなたでも、分かりやすく安心して作業に取り組める仕組みが構築できれば、もっとこの取り組みが広がっていくのでは」と話されました。

今回の取材を終えて

今回、市内事業所における農福連携事業について話を伺う中で、さまざまな業種で、新型コロナウイルスの影響が大きいことを改めて痛感しました。そういった中、今回取り上げた農福

連携事業では「農業」と「福祉」に関わる皆さんが手を取り合い、お互いの立場や状況を理解しながら取り組まれていました。また、そこに関わる皆さん誰もが、難しいことにチャレンジされているはずですが、笑顔で楽しみながら取り組まれていることが印象的でした。

池本さんもインタビュウの中で「同じ地域に住む者同士助け合いながら、それぞれの立場を理解し、お互いを思いやりながら取り組むことが大切」と話されていました。

今回は『農業』と『福祉』の連携についてまとめましたが、今後、これまで関連の少なかった部門同士の連携が進むことで、農福連携事業同様に新たな取り組みがスタートするかもしれません。こういった取り組みが広がることで、ウィズコロナ、アフターコロナにおける新たな生活様式が見つかるとともに、朝来市のめざす将来像「人と人がつながり幸せが循環するまち」の実現につながるのではないのでしょうか。

令和5年度認定こども園・保育園・学童クラブ入園(所) 申込受付を開始します。

市教育委員会こども育成課では、令和5年度に認定こども園・保育園・学童クラブへの入園(所)希望者の申し込みを受付けています。

▶問い合わせ先
各施設
または こども育成課 ☎ 672-4933

▶申込期間 11月30日(金)まで

認定こども園・保育園は、年度途中に入園希望のある人も申し込みください。

※必ずしも入園を確約するものではありません。

【認定こども園・保育園の申し込み】

▶**申込書類** 申込書など一式を認定こども園・保育園(下記参照)で、各自入手してください。こども園については、1号(教育利用)用、2・3号(保育利用)用がありますので、利用形態によって選択してください。(右上「認定区分の違い」参照)

▶**提出場所** 入園を希望する各こども園・保育園

▶市内こども園・保育園一覧

	施設名	運営主体	所在地	電話番号
こども園	生野こども園	公立 (朝来市)	生野町口銀谷 546	☎ 679-3602
	糸井こども園		和田山町寺内 565-1	☎ 675-2644
	大蔵こども園		和田山町宮田 196	☎ 673-2281
	東河こども園		和田山町中 380	☎ 672-3257
	竹田こども園		和田山町竹田 592-1	☎ 674-0014
	中川こども園		桑市 99	☎ 678-0077
	山口こども園		羽洲 538	☎ 677-0140
	ひまわりこども園		和田山町和田山 372-1	☎ 672-5184
保育園	枚田みのり保育園	私立 (社会福祉法人)	和田山町枚田 1622	☎ 672-5504
	やなせこども園		山東町矢名瀬町 772	☎ 676-2344
	照福こども園		山東町溝黒 123-1	☎ 676-2347
	あわが保育園		山東町早田 222	☎ 676-3329
	めばえのこわ保育園		和田山町平野 548	☎ 670-2236

※めばえのこわ保育園については0～2歳児のみ利用可能です。

認定区分の違い

認定こども園の3歳～5歳児は、1号認定(保育を必要としない)と2号認定(保育を必要とする)が保護者の就労形態などにより選択することができ、0歳～2歳児は、3号認定(保育を必要とする)のみとなります。

【学童クラブの申し込みについて】

▶**申込書類** 学童クラブ入所申請書など一式を学童クラブで、各自入手してください。

▶**提出場所** 入所を希望する各学童クラブ
※療育が必要な児童は、学童クラブの利用はできません。
※保育料など滞納のある人は利用できません。

▶市内学童クラブ一覧

	クラブ名称	住所	電話番号
公立	生野学童クラブ てるてるぼうずの会	生野町口銀谷 418-4	☎ 679-4010
	糸井学童クラブ たんぼぼクラブ	和田山町高生田 4-1	☎ 673-3939
	大蔵学童クラブ おくらべの会	和田山町宮田 210	☎ 672-2550
	和田山学童クラブ めだかの会	和田山町和田山 474	☎ 672-2799
	東河学童クラブ つくしんぼクラブ	和田山町中 370-1	☎ 672-0378
	竹田学童クラブ たけのこクラブ	和田山町安井 61	☎ 674-0029
	中川学童クラブ ひばりの会	桑市 99	☎ 678-0567
	山口学童クラブ さくらんぼの会	羽洲 390	☎ 677-0210
私立	山東学童クラブ 1・2・3	山東町楽音寺 95	☎ 676-2152
	照福放課後児童クラブ くじら組	山東町溝黒 123-1	☎ 676-2347
	枚田みのり放課後児童クラブ	和田山町枚田 1649	☎ 672-6250
	やなせ学童クラブ	山東町矢名瀬町 772	☎ 676-2344

マイナンバーカード 申請出張窓口のご案内

出張申請スケジュール

マイナンバーカードをまだ申請していない人を対象に、下記の日程で出張申請窓口を開設します。

ぜひこの機会をご利用ください。

※マイナポイントの受付サポートは行いません。

▶持ち物

本人確認書類2点(運転免許証、健康保険証、介護保険証、パスポートなど)、通知カード(お持ちの人)、交付申請書(お持ちの人)

※その場で写真撮影を行います。(無料)

▶日程

11月26日(土)、9時～12時

▶場所

あさご・ささゆりホール
(入口ホワイエ)



問い合わせ先 市民課 ☎ 672-6120

ご自宅でマイナンバーカードの申請をお手伝い!(要予約)

マイナンバーカードの申請を希望される人で、外出が困難な人を対象に、ご自宅に職員が出向きカードの申請受付サポートを行います。

※対象者には条件があります。詳しくは、広報折り込みチラシをご覧ください。

▶申請サポート内容

- ①申請書および暗証番号記載票の記入サポート
 - ②写真撮影(無料)
- ※カードは1カ月半ほどで、ご自宅に本人限定郵便で郵送します。(本人様の受け取りが必要です)

▶**期間** 11月15日(土)～12月15日(土)

▶**日程** 毎週火曜日・木曜日

▶**時間** 9時～12時 / 13時～16時

▶**予約方法**(予約は、平日8時30分～16時をお願いします。)

- ①本人またはご家族が、下記まで電話をお願いします。
- ②日時を調整のうえ、職員がご自宅にお伺いします。

▶**必要なもの** 左記と同様

募集 朝来市地域公共交通ワークショップ開催

市では、令和4年度を「公共交通対策元年」に位置づけて、地域公共交通網形成計画（令和元年度末策定）を基本に、公共交通の利用促進や新たな移動手段の検討を進めています。

そこで、旧町ごとにワークショップを開催しますので、新たな移動手段や地域公共交通の利用促進策について、一緒に話し合ってみませんか。

▶日時・場所

- 山東地域／さんとう緑風ホール、12月2日㊦、18時30分～21時
- 朝来地域／あさご・ささゆりホール、12月3日㊦、10時～12時30分
- 和田山地域／和田山ジュピターホール、12月16日㊦、18時30分～21時
- 生野地域／生野メインホール、12月17日㊦、10時～12時30分

▶対象者 高校生以上の市民

▶定員 各回50人程度

▶申込方法・申込期限

11月15日㊦までに、応募チラシ裏面の参加申込書を郵送・ファックス・持参いただくか市ホームページの応募フォームから応募してください。

▶問い合わせ先

総合政策課
☎672-6110

募集 生涯学習講演会開催

市と市生涯学習推進員連絡協議会では、下記のとおり、生涯学習講演会を開催します。

▶日時

12月18日㊦、14時15分から
（開場：13時45分）

▶場所 あさご・ささゆりホール

▶講師 渡貫 淳子氏

（調理師、第57次南極地域観測隊調理隊員）



▶演題

南極ではたらく
～かあちゃん調理隊員になる～

▶料金 無料

※事前の申し込みが必要です。

▶対象者

市民、朝来市生涯学習推進員

▶定員 300人

※ご応募多数の場合は抽選させていただきます。

▶申込方法

和田山生涯学習センターに電話などで申し込みください。

▶問い合わせ先

和田山生涯学習センター
☎672-0188

▶交通事故（9月）

人身事故 79件
死者 0人
負傷者 90人

▶救急・火災件数（9月）

救急・救助 142件
火災 3件

マイナンバーカード 休日・時間外窓口（予約制）

カードの交付・更新・申請受付を行います。平日の開庁時間内にお越しになれない人は、ぜひご利用ください。

※交付・更新は開設日の**3日前までに予約**をお願いします。
※申請は**予約不要**です。本人確認書類と通知カードを持参してください。

▶日時

11月13日㊦、12月11日㊦
8時30分～12時
毎週金曜日（12月30日は除く）
17時30分～19時

▶場所・問い合わせ先

市役所本庁舎1階
市民課 ☎672-6120

今月の税金など

納付は便利な口座振替で

国民健康保険税 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

暮らしの

情報コーナー

農耕作業用の

小型特殊自動車は申告が必要です

農耕トラクター、コンバイン、田植え機などの農耕作業用自動車で、乗用装置があり最高速度が時速35km未滿のものは、小型特殊自動車に該当し軽自動車税種別割が課税されます。公道走行の有無に関わらず、所有されていることに基づいて課税されますので、これらの車両をお持ちの場合は申告を行いナンバープレート（課税標識）の交付を受けてください。

申告には、所有されている車両の登録が必要になりますので、販売証明書などの車名、車台番号、型

式などが確認できるものをご用意ください。

また、廃棄や譲渡によって車両を所有されなくなった場合は忘れずに申告を行い、廃車の手続きをしてください。未申告のままにされると、課税対象となりますのでご注意ください。



問い合わせ先 税務課（市民税係） ☎672-6119

あさご・ささゆりホール (月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日))

伊沢拓司講演会

- ▶ 公演日 / 11月19日(土)
- ▶ 開演 / 14時00分 (開場 13時30分)
- ▶ 料金 / 大人 2,000円
中学生以下 1,000円 (当日 300円増)
- ※ 友の会会員は 100円 OFF (2枚まで)



* 公演当日はマスクの着用・咳エチケット、手指消毒をお願いします。
 * 入場時に体温測定をさせていただきます。発熱のある人は入場をお控えください。
 * 新型コロナウイルス感染拡大状況により公演、会場が延期または中止する場合があります。

芸術文化課 ☎ 672-6114

お知らせ 令和5年朝来市二十歳を祝う会

令和5年二十歳を祝う会を次のとおり開催します。

対象者で市内に住民票がある人は、11月中に案内を発送します。他市町村に在住で、参加を希望される人は、生涯学習課まで問い合わせてください。

- ▶ 日時 令和5年1月8日(土)、13時から(受付は12時30分から)
- ▶ 場所 和田山ジュピターホール
- ▶ 対象者 平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの人
- ▶ 申込期限 12月9日(金)まで
- ▶ 申込・問い合わせ先 生涯学習課 ☎ 672-0188

募集 しめ縄づくり教室 受講生募集

しめ縄づくり教室を下記のとおり開催します。

- ▶ 日時 12月23日(土)、13時～17時
- ▶ 場所 和田山生涯学習センター 第4研修室
- ▶ 受講料 1人500円
- ▶ 対象 原則朝来市民
※ 定員に達しない場合は市外の人も受講可能
- ▶ 定員 15人 (先着順)
- ▶ 申込方法 申込用紙に記入の上、各生涯学習センターに提出いただくか、電話またはファックスで申し込みください。(申込用紙は各生涯学習センターにあります。)
- ▶ 問い合わせ先 和田山生涯学習センター ☎ 672-0188
ファックス 672-1734

募集 働く女性のためのスキルアップ講座

働く女性を対象に次のとおり講座を開催します。

～これからの時代に必要な知識とスキルを身に着けよう～

【第1回】

- ▶ 日時 11月15日(土)、13時30分～16時
- ▶ 内容 「もう人間関係で悩まない！関係性を構築するアサーティブコミュニケーション」

【第2回】

- ▶ 日時 12月7日(土)、13時30分～16時
- ▶ 内容 「中長期でキャリアを描こう！人生100年時代のキャリアデザインとお金の基礎知識」

- ▶ 講師 (株) Will Lab 小安 美和氏
- ▶ 場所 和田山ジュピターホール
- ▶ 料金 無料
- ▶ 定員 各回30人
- ▶ 申込期限 開催日の1週間前までに、電話・ファックスまたはメールで申し込みください。

※ いずれかだけの参加も可能です。詳しくは、市ホームページで確認ください。下記QRコードからも確認できます。

- ▶ 問い合わせ先 経済振興課 ☎ 672-2816
ファックス 672-3220
メール keizai@city.asago.lg.jp



ヒメハナ公園 ウツギの館 (月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日))

伊澤 健 水彩画個展

- ▶ 出展者 伊澤 健 (生野町新町区) ▶ 会期 11月10日(土)～27日(日)
- ※ 開館：9時～17時 展示の最終日は15時終了予定

ヒメハナ公園 ☎ 676-4587

【お詫びと訂正】10月号で伊沢拓司さん講演会の開催場所をジュピターホールと記載しておりましたが、正しくは「あさご・ささゆりホール」での開催となります。

お知らせ

福知山公立大学市民講座 教育でまちづくりを 考える(参加費無料)

福知山公立大学では、次のとおり市民講座を開催します。

- ▶日時 11月25日(金)、
19時～21時(受付:18時40分)
- ▶場所 市民交流プラザふくちやま
4階会議室(オンライン参加可)
- ▶定員 35人程度
- ▶申込期限 11月22日(水)、17時まで
- ▶問い合わせ先

福知山公立大学北近畿地域連携機構
市民リエゾンユニット

☎ 0773 (24) 7151

詳しくはこちら→



お知らせ

芸術文化観光専門職大学 「人口減社会のシナリオ と地方からの文化発信」

芸術文化観光専門職大学では、
内田 樹^{うちだ たつる}氏を講師に招き、これからの
生き方を考えるための講座を次の
とおり開催します。

- ▶日時 11月26日(土)、
10時30分～12時(受付:10時)
- ▶場所 芸術文化観光専門職大学
- ▶定員・参加費 50人程度・500円
- ▶申込・問い合わせ先

芸術文化観光専門職大学
エクステンションセンター

☎ 0796 (34) 8275

詳しくはこちら→



お知らせ

全国一斉『女性の人権 ホットライン』強化週間

夫・パートナーからの暴力やセク
シャル・ハラスメントなど、女性を
めぐるさまざまな人権問題について
電話相談に応じます。相談は無料で
秘密は厳守します。

- ▶電話番号
0570-070-810
(全国共通ナビダイヤル)

- ▶日時
- ◀平日>
11月18日(金)、21日(月)、22日(火)、
24日(木)、8時30分～19時
- ◀土・日・祝>
11月19日(土)、20日(日)、23日(水)、
10時～17時

- ▶担当者
人権擁護委員、法務局職員
- ▶相談方法 電話相談のみ
- ▶問い合わせ先
神戸地方法務局人権擁護課
☎ 078 (392) 1821

SNS相談 ～こころちゃっと～

女性相談員が対応する
オンラインのチャット
相談です。



- ▶開設日時
毎週(水)～(土)、10時～13時
※国民の休日、年末年始
(12/28～1/3)を除く

お知らせ

源泉所得税年末調整説明会 消費税インボイス制度説明会

公益社団法人和田山納税協会では、令和4年分の年末調整のしかたなどについて、次のとおり説明会を開催します。

- ▶日時
11月25日(金)、14時～16時30分
- ▶場所
和田山ジュピターホール大ホール
- ▶内容

- 国税庁作成の年末調整説明用ビデオの視聴
- 「消費税インボイス制度(適格請求書保存方式)」の導入などについての説明
- 税務署担当官への質問 など
- ※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更などが生じる場合があります。

- ▶問い合わせ先
公益社団法人和田山納税協会
☎ 672-5727
ファックス 672-3316
メール: wadayama@nk-net.co.jp



12月申請
28日限は
水まで

申請はお済ですか?

家計急変世帯に10万円を給付

新型コロナの影響を受け所得が減少した世帯で、住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金に非該当の世帯(その他にも支給要件あり)
※詳しくは担当課まで問い合わせください。

- ▶支給額 / 1世帯あたり10万円
- ▶申請期限 / 12月28日(水)まで
- ▶問い合わせ先 / 社会福祉課 ☎ 672-6123

令和4年度上半期（4月～9月）財政状況を公表します

朝来市財政状況の公表に関する条例に基づき、令和4年度上半期（4月1日～9月30日）の朝来市の財政状況をお知らせします。

▶問い合わせ先
財務課 ☎ 672-6118

1 歳入歳出予算の執行状況

▶一般会計（歳入）

（単位：円）

款	予算額	収入済額	収入割合
市 税	4,114,452,000	2,395,844,935	58.2%
地方譲与税	284,000,000	86,490,000	30.5%
利子割交付金	2,900,000	830,000	28.6%
配当割交付金	21,900,000	7,205,000	32.9%
株式等譲渡所得割交付金	36,800,000	0	0.0%
法人事業税交付金	41,700,000	33,304,000	79.9%
地方消費税交付金	667,700,000	379,104,000	56.8%
ゴルフ場利用税交付金	15,700,000	5,140,870	32.7%
環境性能割交付金	36,000,000	10,237,000	28.4%
地方特例交付金	19,700,000	25,824,000	131.1%
地方交付税	7,586,000,000	4,922,826,000	64.9%
交通安全対策特別交付金	6,000,000	2,694,000	44.9%
分担金及び負担金	179,932,000	18,942,276	10.5%
使用料及び手数料	601,285,000	280,666,265	46.7%
国庫支出金	2,305,206,000	342,055,016	14.8%
県支出金	1,778,391,000	148,230,460	8.3%
財産収入	80,332,000	17,757,022	22.1%
寄附金	377,371,000	81,305,333	21.5%
繰入金	985,108,000	0	0.0%
繰越金	155,355,000	356,752,995	229.6%
諸収入	514,468,000	155,329,685	30.2%
市債	926,100,000	0	0.0%
歳入合計	20,736,400,000	9,270,538,857	44.7%

▶一般会計（歳出）

（単位：円）

款	予算額	支出済額	支出割合
議会費	174,260,000	89,325,936	51.3%
総務費	3,313,315,000	1,013,199,461	30.6%
民生費	5,393,692,000	1,740,598,418	32.3%
衛生費	2,543,778,000	998,985,535	39.3%
労働費	9,957,000	2,829,612	28.4%
農林水産業費	1,348,409,000	232,370,697	17.2%
商工費	739,177,000	416,422,050	56.3%
土工費	2,143,912,000	269,943,324	12.6%
消防費	745,909,000	208,597,809	28.0%
教育費	1,553,821,000	624,844,683	40.2%
災害復旧費	1,000	0	0.0%
公債費	2,730,115,000	1,346,794,351	49.3%
諸支出金	1,000	0	0.0%
予備費	40,053,000	0	0.0%
歳出合計	20,736,400,000	6,943,911,876	33.5%

▶特別会計・公営企業会計

（単位：円）

会計名	歳入予算額	収入済額	収入割合	歳出予算額	支出済額	支出割合	
国民健康保険	3,429,500,000	977,923,606	28.5%	3,429,500,000	998,968,689	29.1%	
宅地開発事業	13,600,000	7,178,034	52.8%	13,600,000	69,300	0.5%	
休日診療所	15,000,000	0	0.0%	15,000,000	3,485,862	23.2%	
介護保険	4,040,000,000	1,666,214,968	41.2%	4,040,000,000	1,561,206,738	38.6%	
後期高齢者医療	500,000,000	166,731,916	33.3%	500,000,000	153,281,202	30.7%	
財産区	12,600,000	110,132	0.9%	12,600,000	31,500	0.3%	
水道事業	収益的	744,664,000	239,857,515	32.2%	708,361,000	77,215,228	10.9%
	資本的	238,793,000	0	0.0%	559,694,000	59,314,200	10.6%
工業用水道事業	収益的	18,015,000	1,228,800	6.8%	18,004,000	2,012,401	11.2%
	資本的	—	—	—	2,000,000	1,226,500	61.3%
下水道事業	収益的	1,365,753,000	25,023,090	1.8%	1,143,650,000	99,901,266	8.7%
	資本的	508,372,000	1,800,000	0.4%	901,368,000	1,188,000	0.1%

2 基金の状況

（単位：円）

会計名	基金名	9月末残高
一般	財政調整基金	4,513,208,387
	減債基金	9,544,878
	その他特定目的基金	6,675,571,928
	土地開発基金	573,233,533
国保	財政調整基金	206,808,922
介護	介護保険給付費準備基金	226,830,274
財産区	生野財産区基金	125,448,125
合計		12,330,646,047

3 地方債の状況

（単位：円）

会計名	9月末残高
一般	16,620,967,452
水道事業	2,556,329,385
下水道事業	3,459,264,983
合計	22,636,561,820

4 一時借入金の状況（令和4年9月30日現在）

令和4年度の一時借入金限度額は、一般会計 20 億円、国民健康保険特別会計 2 億円、水道事業会計 1 億円、下水道事業会計 1 億円となっており、各会計とも借入実績はありません。

イベント 天空の竹田城跡
スカイランタンナイト

天空の城竹田城跡でスカイランタンナイトを開催します。竹田城跡を彩る光の演出をお楽しみください。

- ▶日時 11月26日④、日没～20時
- ▶場所 竹田城跡
- ▶観覧料 500円※中学生以下は無料
- ▶問い合わせ先
観光交流課 ☎672-4003

イベント 神子畑選鉱場跡
ライトアップ

神子畑選鉱場跡でライトアップを開催します。幻想的な夜の神子畑選鉱場跡をお楽しみください。

- ▶期間 12月3日⑤～9日⑥、17時～21時
- ▶内容（3日のイベント内容）
- ガイドツアー 14時～16時
- 出店 15時～20時
- 熱気球フライト 16時15分～20時
- 点灯式 17時～18時
（虎臥陣太鼓の演奏もあります）
- ▶場所 神子畑選鉱場跡
- ▶申し込み 当日現地にて受付
- ※会場付近に駐車場はありません。
当日は、朝来グラウンド、朝来中学校、朝来支所が臨時駐車場になります。また、臨時駐車場からシャトルバスにて会場まで送迎します。
- ▶問い合わせ先
観光交流課 ☎672-4003

イベント 但馬まるごと感動市
食の祭典 in あさご

但馬の恵まれた自然環境と多様な農林水産物や地場産品などの但馬ブランド、地域づくりに向けた取り組みを情報発信するとともに、さまざまな資源を活用したツーリズムを推進するため「食・物産・観光」をテーマとした「但馬まるごと感動市・食の祭典 in あさご」を開催します。

- ▶日時
11月12日⑤、10時～16時
11月13日⑥、10時～15時
- ▶場所 イオン和田山店駐車場
- ▶問い合わせ先
但馬まるごと感動市実行委員会事務局
☎0796(26)3697

お知らせ わだやま国際文化交流協会パネル展

わだやま国際文化交流協会では、姉妹都市であるアメリカ・オレゴン州ニューバーグ市にあるシャヘイラムバレー中学校との相互交流を行っています。近年はコロナ禍のため、活動を自粛せざるを得ませんでしたが、気運醸成を図るため、これまでの交流活動を紹介する「わだやま国際文化交流協会パネル展」を開催します。

- ▶期間 11月12日⑤～25日⑥
- ▶場所 和田山生涯学習センターロビー
- ▶問い合わせ先
和田山地域振興課 ☎672-6137

お知らせ クイズ
「銀の馬車道・鉱石の道」
不思議発見！

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」5週年、「生野書院開館30周年」を記念して、生野書院特別展を開催します。

- ▶期間・開館時間
12月25日⑥まで、9時～16時30分
※最終入館は16時
- ▶場所 生野書院 蔵展示室
- ▶休館日
毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ◀展示内容▶
「鉱石の道」「生野銀山本部」「銀の馬車道」のパネルや写真展示。コワニエが使用したと伝わるランプを公開！
- ▶その他
展示を観て、それぞれのクイズに全問正解したら、記念品をプレゼント
- ◀講演会▶
- ▶日時 12月4日⑥、14時～15時
- ▶場所 生野マインホール2階会議室
- ▶講師
竹国^{たけくに}よしみ氏（神河町教育委員会）
- ▶演題
「明治の近代化にみる日本遺産
—生野鉱山寮馬車道—」
- ▶料金 無料
- ▶問い合わせ先
生野書院 ☎679-4336

お悔やみ申し上げます（敬称略）



ふくしの窓から～つながり便り～

山口小学校4年生、5年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を実施！ ～認知症サポーターは認知症の人や家族を見守る応援団です～

認知症は高齢になるほど発症する可能性が高まる病気であることから、高齢化が進む今後もその増加傾向は続くと言えます。2025年には認知症になる人が700万人とも言われており、誰もが認知症になる可能性があり、また関わることになるかもしれない身近な病気です。

朝来市では、小学生のころから認知症の正しい知識をもち、認知症の人だけでなく、高齢の人に優しく接することや思いやりの心を持つことなどを目的とし認知症キッズサポーター養成講座を実施しています。認知症の正しい知識をもち、助け合うことができれば認知症になってもいつまでも住み慣れた地域で生活することができます。

9月12日(月)に山口小学校5年生、10月3日(月)に同校4年生に認知症キッズサポーター養成講座を実施しました。認知症キャラバン・メイト(認知症ボランティア講師)による講義や寸劇を通して、認知症という病気について、認知症の人や高齢の人への接し方を学びました。講座の後には、認知症サポーターの証のオレンジリングを渡しました。児童のみなさんからは「認知症について学ぶ良い機会になった」「自分のおじいちゃん、おばあちゃんや地域の人にやさしく声をかけたい」「笑顔で話を聞くようにしたい」などの思いやりのある優しい言葉が聞けました。



↑講座を受講した山口小学校4年生の皆さん



講座を受講した山口小学校5年生の皆さん

未来を担う子どもたちの思いが、今後の朝来市を支える大きな力になることを願っています。

年齢を重ねても、認知症になっても安心して生活していくために、病気を理解することや認知症の人へ正しく接することで、住み慣れた地域で生活することができます。地域や学校、企業など、5人程度集まれば認知症サポーター養成講座を開催することができます。

認知症サポーター養成講座や、キッズサポーター養成講座については、下記に問い合わせください。

問い合わせ先

朝来市地域包括支援センター ☎ 672-6125
 生野地域包括支援センター ☎ 670-5202

戸籍の窓

◆掲載対象期間
 9月16日
 ～10月15日届出分

(令和4年9月30日現在)
 総人口 28,811人 (+3)
 男 13,835人 (+8)
 女 14,976人 (-5)
 世帯数 12,309世帯 (+30)
 ()は前月比

お誕生おめでとうございませう (敬称略)





健康コーナー

問い合わせ先 健幸づくり推進課
☎ 672-5269 (朝来市保健センター)

糖尿病予防の食事は健康食です

日頃から食生活に気をつけ、糖尿病を予防しましょう。

《バランスの良い食事のポイント》

▶ 1日3食規則正しく食べる

食事の時間を決め、それぞれの食量は均等にしましょう。

▶ 毎食、主食・主菜・副菜をそろえる

○主食 (ご飯、パン、麺類)

炭水化物を多く含み、体のエネルギー源になります。

○主菜 (肉、魚、卵、大豆や大豆製品)

タンパク質を多く含み、筋肉など体を構成します。

○副菜 (野菜、海藻、きのこ、こんにゃくなど)

食物繊維・ビタミン・ミネラルを多く含み、体の調子を整えます。

▶ 食べる順番を意識する

主食より先に副菜や主菜を食べることで、食後の血糖上昇が緩やかになるといわれています。

★体重が気になる人や運動不足が気になる人は、

副菜→主菜→主食の順がおすすめです。

★血糖値は気になるけど、栄養もつけたい人は、

主菜→副菜→主食の順がおすすめです。

▶ ゆっくりよく噛み、腹八分目にする

よく噛んで食べることで、満腹感を感じやすく食べ過ぎを防止できます。

▶ 野菜をしっかり食べる

野菜に多く含まれている食物繊維は血糖値の急な上昇を抑える働きがあります。1日に350g²をめざしましょう。

【350g²の目安】

生野菜なら両手に3杯分、ゆで野菜なら片手に3杯分

▶ 間食は摂りすぎないようにする

糖分の多いお菓子や飲料は控え、果物や糖分の少ない飲料 (お茶やお水など) にしましょう。

【果物の1日の目安量】

バナナなら1本、みかんなら中2個、りんごなら中1/2個

南但休日診療所《11月・12月診療日》

▶ 診療日

《11月》6日①、13日①、20日①、27日①

《12月》4日①、11日①、18日①、25日①、31日①

▶ 受付時間 8時30分～11時30分、13時～16時

▶ 場所

和田山町法興寺 378-1 (朝来市保健センター併設)

▶ 診療科 内科、小児科

▶ 持ち物 保険証、医療費受給者証、マイナンバーカード、診療費

▶ 連絡・問い合わせ先

南但休日診療所 ☎ 672-5269

※受診時には事前に電話で連絡ください。

※感染予防のため、必ずマスクの着用をお願いします。

※マイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただけます。



健康カレンダー

11 / 16 ~ 12 / 15

月	日	曜日	内容	場所
11月	16	水	ごっくん離乳食教室	朝来市保健センター
	17	木	8カ月児健診	朝来市保健センター
	18	金	ペンギン一む	朝来市保健センター
	20	日	ハローベビー教室	朝来市保健センター
	21	月	献血	朝来市役所本庁舎
	22	火	ぱくぱく離乳食教室	朝来市保健センター
	28	月	健康セミナー (高血圧予防 医師)	朝来市保健センター
	30	水	献血	朝来市保健センター
	12月	1	木	1歳6カ月児健診
2		金	3歳児健診	朝来市保健センター
4		日	ハローベビー教室	朝来市保健センター
14		水	ごっくん離乳食教室	朝来市保健センター

お知らせ 市役所申告会場で 確定申告を行った皆さまへ

税務署では、確定申告について電子申告 (e-Tax) の利用を推進しています。

市役所申告会場で所得税などの確定申告を行った人を対象に送付している「所得税及び復興特別所得税の確定申告の手続について」を受領された人は、電子申告を行うために「利用者識別番号」の取得手続にご協力をお願いします。

問い合わせ先 和田山税務署 ☎ 672-3171

お知らせ 「税を考える週間」

国税庁では、国民の皆さまに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、1年を通じて租税に関する啓発活動を行っています。毎年11月11日から17日は「税を考える週間」です。この機会に、税について考えてみませんか。

▶ テーマ

「これからの社会に向かって」

▶ 期間 11月11日(金)～17日(木)

税を考える週間
これからの社会に向かって

一人ひとりの納税が
社会の中で実ります

税を考える週間 検索
<https://www.nta.go.jp> 国税庁

相談名		日時	場所	内容	担当課（電話番号）
一般相談	人権相談	11月10日(木) 13:30～15:00	生野保健センター 和田山生涯学習センター	人権問題に関する相談	人権推進課 ☎ 672-6122
		12月8日(木) 13:30～15:00	和田山生涯学習センター 山東老人福祉センター 朝来老人福祉保健センター		
	行政相談	12月19日(月) 10:00～11:30	市役所本庁舎1階相談室 生野保健センター 山東老人福祉センター 朝来庁舎1階会議室	官公庁の仕事の苦情や意見・要望 または相談	市民課 ☎ 672-6120
	出張年金相談 (前日までに要事前予約)	12月8日(木) 10:00～16:00	朝来庁舎第2会議室	年金に関する全般的な相談 【持ち物】 ・基礎年金番号のわかるもの ・身分証明書（運転免許証など）	豊岡年金事務所 ☎ 0796(22)0948
消費生活相談	月～金曜日 9:00～16:30	朝来市消費生活センター (市民課内)	悪質商法・多重債務・架空請求 などの相談	朝来市消費生活センター ☎ 672-6121 消費者ホットライン ☎ 188	
こころと身体	健康相談	月～金曜日 8:30～17:15	朝来市保健センター	こころや身体の健康に関する相談	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
	こころのケア相談 (要予約)	11月18日(金) 13:30～16:30	朝来市保健センター	人間関係の悩みやストレス、うつ病や認知症など精神疾患を有する 場合などの相談	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269 朝来健康福祉事務所 ☎ 672-0555
	若者のこころの相談 (要予約)	11月24日(木) 13:30～16:00	兵庫県朝来健康福祉事務所		
子育て相談	家庭児童相談室	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	子育て、家庭の悩みなど児童に 関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123
	子育て世代 包括支援センター	月～金曜日 8:30～17:15	朝来市保健センター	乳幼児の子育て、妊産婦の健康 の悩みなど	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
	すこやか相談	11月18日(金) 9:30～11:30	朝来市保健センター	妊婦、子育てに関する相談	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
家庭相談 ひとり親	母子・父子相談 (ひとり親家庭の相談)	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	生活上の悩みなど、母子・父子 家庭の自立に向けた相談	社会福祉課 ☎ 672-6123
	ひとり親家庭等特別相談 (予約制)	12月3日(土) ※11月24日(木) までに要予約	市役所本庁舎2階相談室	弁護士による無料相談 (オンライン相談1回30分)	社会福祉課 ☎ 672-6123
フェミニストカウンセラーによる 女性のなやみ相談(要予約)	11月9日(木) 12:30～15:30 12月14日(木) 12:30～15:30	市役所本庁舎404会議室	人間関係、夫婦関係、生き方など 女性が抱えるさまざまな悩みの相談	人権推進課 ☎ 672-6122	
DV相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	配偶者からの暴力に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123	
身体障害者相談	12月5日(月) 13:00～16:00	朝来老人福祉保健センター	身体障害に関する相談	社会福祉協議会朝来地域センター ☎ 677-1606	
認知症相談	月～金曜日 8:30～17:15	ふくし相談支援課	認知症に関する相談	ふくし相談支援課 ☎ 672-6125	
ひきこもり支援相談		月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	ひきこもりに関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123
		☎ 9:00～12:30 金 9:00～12:30 金 13:30～17:00	居場所いろは		居場所いろは ☎ 080-4978-4566 【電話相談】 月～金曜日、9:00～17:00
		月・火・木・金・土 11:00～15:00	居場所どんぐりの家		朝来どんぐりの会 ☎ 668-9192
生活保護相談 生活困窮者の自立相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	生活保護に関する相談、収入減 少など、生活の不安に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123	
仕事相談	あさご元気産業 創生センター	月～金曜日 8:30～16:30	あさご元気産業創生センター (経済振興課内)	仕事に関すること全般	あさご元気産業創生センター ☎ 672-2816
	ジョブサポあさご	月～金曜日 8:30～16:30	ジョブサポあさご (経済振興課内)	就職に関すること全般	ジョブサポあさご ☎ 672-2816
	若者の就労相談 (要予約)	第2・4水曜日 13:00～17:00 随時(月1回程度)	山東生涯学習センター (山東庁舎内) 朝来生涯学習センター	若者の就労、自立に向けた相談	労協若者サポート ステーション豊岡 ☎ 0796(34)6333
法律相談	司法書士による法律相談 (要予約)	11月5日(土) 13:00～16:00	和田山ジュピターホール 研修室	司法書士による登記・相続・多 重債務などの法律相談	兵庫県司法書士会但馬支部 ☎ 0796(23)7817
	総合法律センター 南たじま相談所(予約制)	11月24日(木) 13:00～15:00	和田山老人福祉センター	弁護士による法律相談 (予約制・1回30分・相談料5,500円)	兵庫県弁護士会 ☎ 078(351)1233
	土地家屋調査士による 無料相談(要予約)	11月19日(土) 13:30～16:00	アイティ7階 豊岡市民プラザ市民活動室B	土地建物登記、土地境界に関する 相談	兵庫県土地家屋調査士会但馬支部 ☎ 0796(23)3860

運動習慣スタートキャンペーン



期限までにこちらのチケットをお持ちください

施設利用有効期限：12月27日(木)まで

※キャンペーンにて施設を6回ご利用された人は、
月券割引券と交換させていただきます。



あさごふれあいプール

くじら通信

朝来市新井 172
☎ 670 - 4700

身体を動かし、寒さを吹き飛ばそう！ 運動習慣スタートキャンペーン第2弾

上記のチケットをお持ちになられた人は無料で施設を6回ご利用いただけます。

初めての人はもちろんのこと、過去3カ月以上利用していない人が対象です。

ぜひ、この機会にご利用ください。



11月の休館日

毎週水曜日 (9日、16日、23日、30日)

毎週日曜日 (6日、13日、20日、27日)

※ 11月～3月は日曜日も休館となります



レティシア
Laëtitiaの

ぺちやくちゃ話や～!

第六十二話 ホテル的な生活 (フランスあるあるシリーズ)

5人の日本人と旅行すれば、皆さんの旅行の仕方だけでなく、生活の習慣がどれくらい違うのかに気がきました。一つ気になったのはタオルの話です。

日本では、毎日お風呂に入る習慣がありますね。家族の場合、1日のお湯を共有したり、一人暮らしの場合、同じお湯を数日使ったりすることは一般的です。外国人から見ると、不思議な習慣と思いますが、体を洗ってからお湯に入るから大丈夫といつも言われました。

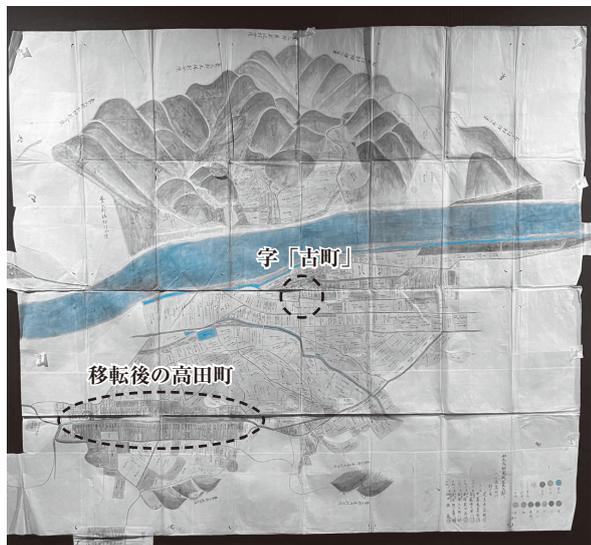
ホテルでは、環境にやさしくするため、タオルを床に置いて意思表示しないと毎日交換せず、整えるだけにします。それにびっくりした旅の仲間は何人もいたのですが、私はその驚きにびっくりしました。だって、そんなお風呂の習慣を持つ国なのに、なぜ一部の人はバスタオルを1回しか使っていないのに洗濯に出しますか。きれいな体を拭いただけなので、地球のために干してから再使用を検討していただだけませんか。



(人権推進課国際交流員 ルヌブ・レティシア)

江戸時代には京極家の本陣があり、この往来を行く人々に馬や、力仕事をする人足を提供する場所として発展しました。高田から京都方面には梁瀬へ、姫路方面には高田から竹田へ、城崎方面には宵田(豊岡市日高町)へ、丹後方面には出石へと、交通の要衝として機能していたことが高田村由来書に記されています。

また高田は市場の開かれる市場町としても賑わいました。明治初年に描かれた「高田村見取絵図」を見ると、街道両側にいわゆる「うなぎの寝床」状の細長い屋敷地がびっしりと並び、まさに「町」の様相を呈しています。市が開かれる日には街道に面した部屋を、商人たちが借り上げて店を開いたようで、このような市は、最も古いもので享保20年(1735)の記録がのこっています。



←高田村見取絵図

り、少なくとも江戸中期以前から昭和の初期までは市が開催されていました。

今回紹介した高田村見取絵図(朝来市埋蔵文化財センター所蔵)は朝来市埋蔵文化財センター秋の企画展「絵図で見る明治初期の朝来展」で展示しています(会期12月4日(日)まで、入場無料)。江戸時代当初の高田村のあった場所も、絵図に書かれた字名「古町」という地名から確認できます。現物を見ることができ、貴重な機会ですので、ぜひお越しください。

皆さんの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。

秘書広報課 ☎ 672-6113



↑運動場に描かれた人文字
→撮影を終えた飛行機に手を振る児童ら

全校生で人文字「ITOI」作成 糸井小学校 50周年事業

糸井小学校で10月11日(火)、全校生で人文字「ITOI」の航空写真撮影が行われました。

糸井小学校は明治8年に創立。一度、寺内小学校と竹内小学校に分かれ、昭和48年に統合されてから今年で50年目の節目を迎え、今回の撮影を企画・実施。同校では、糸井の歴史や自然などを学び、児童らが地域への誇りや愛着を持つことを目的に学習や活動が行われています。

撮影は、児童らが運動場に描かれた白線のうえに立ち、頭上に赤色の画用紙を空に向かって掲げた状態で撮影が行われ、撮影を終えた児童は「撮影中は少し緊張した。写真の完成が楽しみ」と話していました。



男女共同参画推進会議が 評価意見書を提出

9月26日(月)、市が男女共同参画社会の実現に向けて策定した、第3次朝来市男女共同参画プラン～ウィズ(with)プラン～の令和3年度の進捗状況に対する評価意見書が、市男女共同参画推進会議の巻野めぐみ会長から提出されました。

意見書には、男女共同参画社会実現に向けた意識づくり、審議会などの女性登用について、仕事と家庭の両立支援、男女共同参画の視点に立った地域防災体制の推進、安全安心な暮らし、性別・立場を超えて支え合う地域づくりなど、5項目が挙げられています。

市は、この意見書を踏まえ、男女共同参画社会の推進に向け、全庁的に各種施策に取り組んでいきます。



フランスバルビゾン村訪問

10月1日(土)から10日(月)までの間、藤岡市長のフランス出張に合わせ、市内で和楽器演奏を行う3人が出張に同行され、10月8日(土)に開催された日本の文化を紹介する祭り「ジャパウィーク」に参加されました。

市長あいさつのあと、邦楽の名曲「春の海」をはじめ「天空の城竹田城跡」などの日本や朝来市をイメージする5曲を箏と尺八で演奏。また、演奏後は和楽器に親しんでもらうために体験会を実施し、皆さんと交流されました。

北垣かおりさん(玉置区)は、「バルビゾンは静かで美しく芸術にあふれた街で、皆さんに温かく迎えてもらい大好きになりました」と話されていました。



兵庫県緑の少年団活動発表会に参加 来年の全国発表会の兵庫県代表に

あさご緑の少年団(わんぱく教室)は10月1日(土)、県立三木山森林公園(三木市)で開催された兵庫県緑の少年団活動発表会に参加しました。

この取り組みは今年で41年目を迎え、中川・山口小学校の5・6年生が朝来地域を中心に山や川を活動の場として行っているものです。発表では、ツリーライミングや日本ハンザギ研究所までのサイクリング、枝打ち作業など、これまでの活動写真を用いて紹介。その結果、来年開催される全国緑の少年団活動発表会の兵庫県代表に選出されました。発表を終えた子どもたちは緊張から解放され、大きな満足感、達成感を得ていました。



↑くじらパークチームの皆さんを中心に企画された手づくりで温かみのある「おいわいかい」
←完成した遊具で元気に遊ぶ子どもたち

朝来地域の安心して集える場所に くじら前に複合遊具が完成

10月16日(日)、あさごふれあいプール「くじら」前に複合遊具が設置されたことをお祝する「ゆうぐかんせいおいわいかい」が開催されました。

これまで朝来地域の子育て世代の女性からは「子どもたちが安心して遊べる場所が少ない」などといった意見がある中、濱本史子さん(立脇区)らが中心となり「くじらパークチーム」を結成。皆さんは自主的にアンケートを行い224人の皆さんから意見を集めるなど、遊具設置に向けて市と協力して取り組まれてきました。

濱本さんは「今後もこの場所が過ごしやすい場所になるよう市や皆さんと協力していきたい」と話されました。



藤岡市長が毎月、市政運営を解説します！

教えて市長さん！ vol.6

『市民の暮らしに関係する行財政改革』

行財政改革といえば市役所内部の取り組みのように感じますが、将来世代に責任を持ち、市民福祉の増進を進める上では、市民のみなさんの暮らしに大きく関係するものでもあります。11月号では行財政改革について説明します。

Q. どうして行財政改革が必要なのでしょうか？

人口減少や少子高齢化は全国的な問題であり、市民の皆さんにとっても、「地域の役員のなり手が少ない」、「子ども会の活動が成り立たない」など、地域コミュニティへの影響を通じて身近に感じておられると思いますが、市政運営においてもさまざまな影響があります。例えば、働く世代の減少に伴い税収が減少する一方で、扶助費(子育て世帯や障害のある人などの生活を社会全体で支えるためのお金)の増加が見込まれるなど、市の財政状況は厳しくなります。だからといって、何もせずに問題を先送りするのではなく、次の世代に未来を引き継いでいくためには、資源を有効に活用しながら、市民の皆さんとともに新しい活力と魅力を創造していくことが大切です。そのためには、行政サービスのあり方を再点検し、最小の経費で最大の市民サービスを実現する「行財政改革」が必要となります。



↓渡り初めする皆さん



↑完成した出合橋

出合橋完成に合わせて完成式典を開催

市は10月16日(日)、物部区と伊由市場区を結ぶ出合橋の完成に合わせて、出合橋開通式を開催しました。

今回整備された出合橋は、平成29年から工事が開始され、橋梁の架け替えに合わせ、円山川の流れを阻害していた橋脚を8本から2本にすることで災害の危険性を低減するほか、車両の通行をスムーズに行えるよう幅員が拡幅されました。

式典の最後に、物部区長の足立友邦さんは「豪雨時はいつも心配だった。架け替えで安心して暮らせるようになったことを、大変喜んでいる」と謝辞を述べられました。

Q. 行財政改革は市民の暮らしに関係するの？

朝来市では、財政状況が厳しい中においても質の高い行政サービスと地域活力を維持しつつ持続的発展を図るために、行財政改革推進委員会(市民の代表者の人や有識者で構成)で協議を重ね、「第4次行財政改革大綱」(計画期間:令和4年度から5年間)を策定しました。この大綱では、「歳入の確保」、「歳出の効果的かつ効率的な実行」、「職員の育成と組織力の強化」の3つの柱を定め、計画的に推進しています。計画の一例では、業務プロセスを見直し、行政サービスの向上と業務の効率化を図る取り組みの中で、デジタル技術を活用した行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の拡充などがあります。このように、行財政改革では、市民の皆さんの暮らしが便利になるなど行政サービスが向上するものもあれば、市民の皆さんの理解を得ながら、将来を見据え、公共施設の再配置など人口規模などに応じて変化していかなければならないものもあります。いずれにせよ、このような変化に適切に対応していけるよう、市民の皆さんと対話を重ね、丁寧に進めていくことが大切だと考えています。



連載企画

地域公共交通を考えよう

vol.8 ラストワンマイルの移動手段

タクシーは公共交通

市内にある食品スーパーの開店と同時に、タクシーがお店に到着するところをよく見かけます。降りてくるのはいつもお年寄りの人で、買い物するたれめにお店に入っていきます。毎日ではありませんが、何度もこのような光景を目の当たりにしたことがあります。

タクシーといえば、旅先での移動や、体調不良や飲み会帰りの時など、どちらかといえば非日常的な場面で利用する乗り物と考えていましたが、実際には、こうした日常生活の移動手段として利用される人も多いということに気づきます。

タクシーは、本市の地域公共交通網形成計画においても公共交通の一つとして位置づけており、その主な役割としては、鉄道が市域内外の移動、路線バスが市内の拠点間移動を担っていることに對し、タクシーは市街地・住宅地内など比較的狭い範囲でのドアツードアの輸送や、鉄道やバスが運行していない時間帯での代替輸送手段としての役割を担っています。特に、本市の公共交通体系では、幹線公共交通である鉄道や路線バスからの乗り継ぎとして、アコバス（コミュニティバス）を運行していますが、アコバスが運行していない曜日や時間帯の移動手段、また、アコバスも運行しないエリアの移

動手段については、タクシーに補完的な役割を担ってもらっています。

時代に合わせた形

物流や交通業界では、よくラストワンマイルという言葉が用いられます。これは、「最後の1マイル（約1.6km）」という直接的な距離を意味するものではなく、「輸送する最後の区間」を意味しているものであり、公共交通であれば、最寄りの駅やバス停からご自宅までの最後の区間を意味しています。

近年、地域公共交通を考える上で、このラストワンマイルの移動手段をどうしていくかが全国的にも課題となっています。その主な要因として、これまでは自宅などから歩いて最寄りの駅やバス停に通っていた人が、歳を重ねるごとに、最寄りの駅やバス停まで歩くことが困難となつてきている現状や、公共交通利用者の減少に伴うバス路線などの廃止により、最寄りのバス停が遠距離化していることが挙げられます。

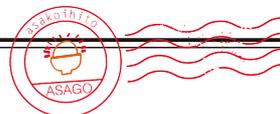
また、ラストワンマイルを担っているタクシー業界も、乗務員不足や乗務員

の高齢化が問題となつており、厳しい環境下にあるようです。そのため、今後これまで以上にタクシーを利用しようとする需要（乗客）が増えれば、当然、供給（配車）が間に合わず予約が取れないといった事態も予想されます。

公共交通機関には、それぞれ鉄道には鉄道、バスにはバス、タクシーにはタクシーの役割があり、それぞれの体系がしっかりと維持確保され、市内の公共交通ネットワークが形成されてはじめて市民生活の移動手段が確保されたことになるのであり、どれか一つでもその体系が欠けてしまうと利便性を損なうだけでなく、市民生活に支障をきたすことにもなりかねません。そのため、今後の公共交通施策を考えていく上では、幹線公共交通である鉄道や路線バスの維持存続だけではなく、こうしたラストワンマイルを支える公共交通のあり方についても、時代に合わせた形となるようにしっかりと考えていかなければなりません。

▼問い合わせ先

総合政策課 ☎672-6110



朝来市地域おこし協力隊

あさこいひと便り

《今月の担当》

北川 修平

朝来市地域おこし協力隊「あさこいひと」のメンバーが毎月交代で執筆します！

朝晩すっかり寒くなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。大蔵地域自治協議会で活動中の北川です。

ジビエの仕事も2年目に入り、忙しくなりそうな矢先、ヘルニアで手術入院をし、現在リハビリを行いながら活動しております。地域の皆さんや猟師さんは、落ち込みがちな私に優しく接してくださり、本当に感謝しております。ご迷惑をおかけしますが、11月からの猟期には万全で臨めればと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

さて、10月25日(火)、大蔵地域自治協議会の特別事業として鹿肉を使った料理教室を開催しました。「おてつたび(※)」で朝来市に来られたお二人にもボランティアとして参加いただき、鹿カツや地元で採れた野菜を使った味噌汁を参加したみんなで調理し、お食事会も開催しました。埼玉と福岡から来られたお二人は、大蔵地域のニンニク農家さんの植え付けの手伝いをされています。話をお聞きすると、「朝来市はちょうどよい田舎で住みたくある魅力がある」とのことでした。鹿肉を初め

て食べられたということでしたが、鹿肉の感触や匂いの無さに驚かれ、大変好評で良かったです。ジビエの魅力がもっと広がればと思います。

農業や田舎暮らしを通じて、市内はもちろん、県外の人とも地域の皆さんとの交流を深める良い機会になったと思います。

※おてつたび…地域の季節的・短期的な人手不足をキッカケに地域の関係人口を創出するマッチングサイト。



鹿肉を使用した料理教室



できあがった鹿カツ

朝来市の旬な情報を、SNS やスマートフォンアプリで配信しています。下記 QR コードを読み取りアクセスしてください。

facebook



マチイロ



市政や観光情報を市公式ページで発信中！

子育て情報を発信「あさごスマイルネット」

アプリをダウンロードすると広報誌が届きます！

市政情報を市公式アカウントで発信中！



編集後記

今月の表紙は、農家の篠岡さん夫妻を紹介させていただきました。お二人は安心安全な農作物を生産するため、できる限り化成肥料を使用せずに作られています。今の時代、『安心安全』というキーワードは大切ですね。／また、特集では、農福連携事業についてまとめました。これまで関わりの少ない分野の皆さんが、助け合いながら、新たな手法を見出すことは、コロナ禍を切り開く足掛かりになるのではないかなと感じました。／そして、いよいよ今月末には岩津ねぎが解禁します。今月は、まるごと感動市など、農作物を楽しむ機会が盛りだくさん！私も市内農家の皆さんの農作物を楽しみたいと思います。☺

あさご市ポータルサイト
あさぶら
ASAGO CITY PORTAL SITE ASABURA

今月の朝来イチオシの話題

天神橋筋商店街で「秋穫祭イベント」開催
【撮影地】 天神橋筋商店街

10月21日～23日に、大阪天神橋筋商店街の一角で「秋穫祭」が開催されました。岩津ねぎを使用した特産品や、とれたて野菜、お酒の量り売りや、希少な国産きくらげなど、朝来市の自慢の品を紹介。大盛況でした!!

<http://www.asabura.jp/> 検索 あさぶら 朝来市



私の幸せ あなたの幸せ まちの幸せ

我が家の米の味を守りたい

農家になったきっかけは、「幼少期から自然と農業の手伝いをする環境で育ったこともあるし、多くの人に慕われた父が培ってきた米の味や農業基盤を守るために、誰かに任せるよりは自分たちが継承したいという想いから」という昌代さん。また、そうした想いを身近に感じていた弘之さんは「妻と共にお義父さんの稲作の工程を学ぶために日記をつけるなどの研究も重ねてきたが、まだまだ努力が必要」と話すなど、共に高い向上心をもって農業に向き合っている。



しのおかひろゆき まさよさん
篠岡 弘之さん 昌代さん
(市御堂区)

人にも自然にもやさしい農業

「篠墅」の今後の展望は、引き続きおいしいお米作りに励み、無農薬・無化学肥料の野菜の収量を増やすとともに、加工品を手掛ける6次産業化をめざすこと。また、共に農業を学ぶパートナーでもある農業研修生に対しては、少しずつでも作物を自分たちで作れる環境を提供し、経験を積めるように伴走することを心がけている。「農業を楽しむという気持ち大切に、皆が笑顔でコミュニケーションをしながら一緒に学ぶスタンスで成長していきたい」と2人は口をそろえた。

篠岡さん夫妻は「篠墅」という屋号を掲げ、米作を中心に、季節に応じた多品目の野菜作りを手掛ける認定農業者。従来は勤め人だった二人だが、昌代さんの父が営んできた農家を継承すべく、平成29年に昌代さんが農業に専念することを決め、弘之さんも令和2年に長らく勤めた製薬会社を退職し農家に転身した。今期からは2人の農業研修生を受け入れており、失敗を共有しながら共に学び合い、農業を楽しむことをテーマに若手農業者の人材育成にも取り組んでいる。

朝来市が目指す将来像

人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

第3次朝来市総合計画 (計画期間: 令和4年度～令和11年度)

まち全体が幸せであるために、まず市民一人一人が幸せを実感できることが大切です。小さなことでも自分のやりたいことが実現できていると人は幸せを実感できます。そのうえ、誰かの役に立てたり、困ったときに頼れる人がいれば、次なるチャレンジに向かう勇気もわいてきます。

朝来市は、一人一人の幸せを育み、互いに響き合うことで、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現をめざしています。